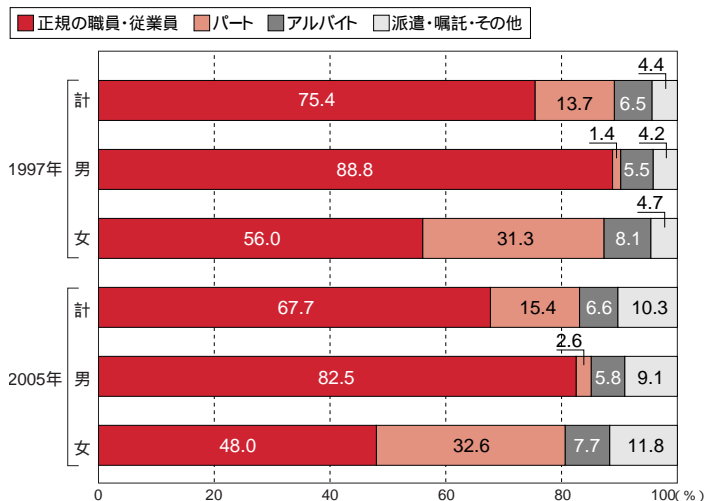


## 雇用環境の変化

長引く不況とともに進んできた、雇用形態の多様化や成果主義の浸透。  
これから社会に出る高校生も、こうした環境変化をつかんでおきたい。

### #01 雇用形態比率の変化

#### 正社員比率は低下。女性は5割に満たない

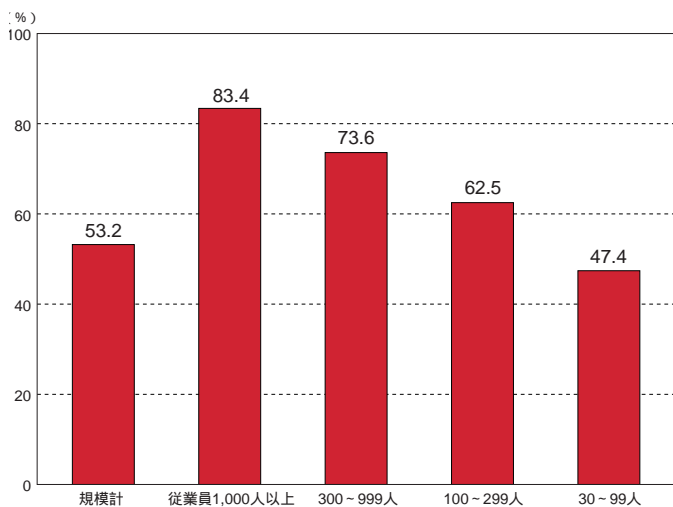


企業では正社員以外にも、パートやアルバイト、派遣、嘱託など多様な雇用形態の人が働いている。過去と比較すると正社員の割合は減少しており、現在は7割以下。女性は5割に満たない。正社員に代わって、パートや派遣・嘱託の割合が高くなっている。

97年は総務省統計局「就業構造基本調査」  
05年は同「労働力調査」(2005年4～6月)

### #02 企業の成果主義の状況

#### 大規模企業では8割超が個人業績を賃金に反映



年齢や勤続年数ではなく成果を重視する人事制度が、日本の企業でも定着してきた。厚生労働省の標本調査によると、個人の業績を賃金に反映させる企業の割合は5割を超す。導入率は規模が大きい企業ほど高く、従業員1000人以上では83.4%となっている。

厚生労働省「平成16年就労条件総合調査」  
個人業績を賃金に反映させる企業の割合